



府中市議会・市政レポート

いなづ
稲津けんご

2023年 夏号



今号の主な項目

- 1面 【議会人事】 異例づくめの議会体制が始まる
- 2面 【一般質問】 市の重層的支援体制整備事業はどうなる？
- 3面 【一般質問】 AEDの適切配置で市民の命を救おう
- 4面 【議会が謎だから聞いてみた】 9. 議席順の決め方

議会
人事

【5月臨時会】改選後の議会はどうなる？

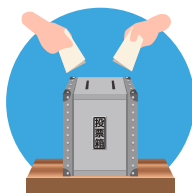
異例づくめの議会体制が始まる

● 予兆は市議選の時からあった!?

2023年4月に実施された府中市議会議員選挙で、自民党と公明党（以下：自公）は過半数を占めることができませんでした。自公寄りと思われる候補者はいましたが、非自公の波も感じられました。

5月の臨時会では、最初に議長選が行われました。定数30の議会の中で、自公が推す候補は13票にとどまり、稲津けんごが所属する会派から立った候補が17票を獲得しました。その後に行われた副議長選でも、自公が推す候補は13票、非自公候補が17票を獲得しました。

府中市議会において、議長・副議長ともに「非自公」となったのは、恐らく初めてだと思われます。これまでの府中市政から変わっていくものと見られます。

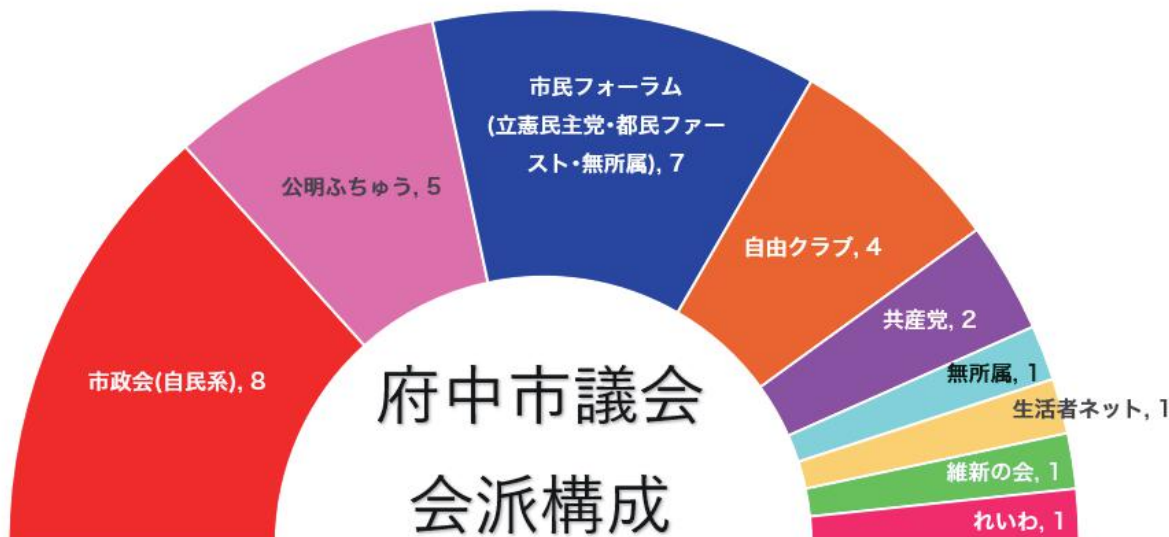


● 会派構成がもたらしたもの

稲津が所属する「市民フォーラム」は、今期から「府中市議会市民フォーラム（立憲民主党・都民ファーストの会・無所属）」となりました。日常的にフルネームで呼ぶことはないと思いますが、会派構成をそのまま表した名前となっています。なお、現時点では第2会派となっています。

今期は一人会派を除く会派が5つ結成されましたが、議長が第2会派から、副議長が第4会派から選出されたことは極めて異例と言えるでしょう。

一人会派も4つ誕生しました。過去にない数ですが、通常、各会派に1つ与えられる議員控室が、2つの一人会派で共用するケースも出ました。これは、新庁舎に移転すると解消されます。



一般質問 【3月議会】思い込みや偏見をまず捨てよ

人とのつながりで命をつないでいこう

● 自殺が人生の選択肢に入らないようにするには？

3月は「自殺対策強化月間」とされています。年度が変わると暮らしも変わるという方も多いでしょう。人生が好転したり好調を維持したりすれば良いのですが、必ずしもそうはいかず、人生を思い悩んでしまう方もいらっしゃいます。

稲津はこれまでも自殺対策に取り組んでおり、議会内でも随時、質問をしてきました。今回は、市の自殺対策総合計画に基づき、どのような支援や対策を講じているのかを問うと同時に、生きることを支える社会づくりに向けて、どのような未来像を掲げているのかを問いました。



● 突然、ひよんなことから…ということも多い

市長からは、市内の自殺者が増加傾向にあることを問題視しており、自殺を思いとどませる人材とも言える「ゲートキーパー」の育成や、地域におけるネットワークの強化を進めるとの答弁があり、市としても自殺につながる要因を減らし、社会全体の自殺リスクも低下させることを目標としていました。

自殺を図る人や傾向を「決めつけ」のように語ってしまう方も多いですが、そのような素振りもなく突然起こす事例も少なくありません。稲津は市に対し、場面や機会を捉えて、施策を前に進めていくことを要望しました。



一般質問 【3月議会】さまざまな視点があつてこそ、うまくいく

市の重層的支援体制整備事業はどうなる？

● 「重層的支援体制整備事業」とは？

これは、自治体をはじめ関係機関や地域資源が地域社会の支援体制を構築するため、国が法制化している事業で、社会福祉法の改正に伴い創設されたものです。

市区町村の任意事業ではありますが、府中市では「地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画の基本目標に関連づけて捉えている」としています。

今回の一般質問で、市からは「福祉総合相談窓口を設け、属性を問わない相談支援の機能を強化できた」との答弁がありました。しかしこの事業には、相談支援以外にも重視している事業があり、これらについては今後拡充するものもあるといった答弁もありました。道半ばではあるものの、今後に期待したいものです。



● 地域で支えるからこそ大きな意味を持つ会議

2023年2月に「府中市精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム連絡会議」が実施されました。精神障がい者を地域で支えるという国の考え方に沿い、精神障がい者にも対応した包括ケアシステムが求められており、今回の会議には精神障がい者を支援する団体の代表なども参加したとありました。

日本の精神障がい者をとりまく環境は厳しい面もあります。いきなり自立して暮らすという訳にはいかず、グループホームに入れたとしても、安定的な運営ができないと十分なケアが提供されないということも見聞きしています。地域で支えるシステムは徐々に作られますが、抜け落ちのない十分な内容が求められています。



議会人事 【5月臨時会】提案型の意見も強めたいところ

令和5年度 稲津はここに所属します

● 変わるものと続くもの

議長・副議長選の後に議席決めがあり、今期は議席番号が26となります(4面も参照)。そして、所属委員会と会議は下記の通りとなりました。

- ・総務委員会(副委員長)
- ・学校施設老朽化対策特別委員会(委員)
- ・多摩川衛生組合議会(副議長)

特別委員会は前年度に引き続きとなりますが、それ以外は新たなものとなります。なお、予算審議では副委員長となり、円滑な議事進行に努めてまいります。



● 取り組んできた問題に直結した会議に

今回所属した「多摩川衛生組合」とは、稲城・狛江・府中・国立の4市で経営しており、4市から出たごみの中間処理を行う「クリーンセンター多摩川」を運営し、施設運営や環境保全に注力しています。なお、稲津のほか、各市4名の議員が「組合議員」として組合議会に参加しています。

稲津はこれまで、ゴミ屋敷や汚部屋問題、防災も視野に入れた環境保全などに取り組んできました。また、ごみ処理時などに起きる事故や労働環境にも注目しており、安全な運営のためにできることを積極的に議論したいと考えています。



一般質問

【6月議会】日本人の死因、第2位は「心疾患」

AEDの適切配置で市民の命を救おう

● あると思っていたら実はなかった…という現実

AEDとは、心室細動で全身に血液を送れない時、電気ショックを与えて心臓の正常な機能を回復させる装置を指します。公共施設や病院などで見たことがあるという方も多いことでしょう。

稲津は今回、子どもの事故に注目して、市のAED設置状況を問いました。その中で、一部の認可保育園や幼稚園で設置されていないとの答弁がありました。市の管轄ではないとは言え、命を救う観点から、設置を呼びかけるよう求めました。また、市内での設置に対する助成制度を検討いただきたいと強調し、普及促進を求めました。



● 頭が真っ白になることを前提にしたAED

AEDの存在は知っていても、実際に使える訳ではないという方は多く、AEDの普及を進める財団などを中心に、知識を広めようという動きがあります。

AEDを使えるようにするために、市でも救急救命講習会を進めています。今回、市から受けた答弁によると、受講者は年々増えており、市や府中消防署などが講習会を広報していることが分かりました。コロナ禍で地域での講習会が開催できない状況があったため、実施団体に再開を呼びかけるよう求めました。

「AEDで救える命がある」という言葉を肝に命じたいものです。



審議会から

【3月議会】市民の健康と命をつなぐ国保税の動き

低所得者に対する国保税保険料の据え置きを実現！

● 国保制度を取り巻く状況

稲津は昨年、府中市国民健康保険運営協議会に選出され、様々な議論を行ってきました。

今回の審議で一番注目されたのが、保険税率と均等割り額の見直しでした。コロナ過による景気の低迷に加え、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響で物価が上昇や、国内の実質所得が低下している状況を踏まえ、国保税の保険料の値上げは、府中市民の生活を圧迫する事が明らかでした。

稲津は、国保の加入する被保険者の所得分布について質疑しました。国保の被保険者は、健保組合の被保険者に比べて、年収が低い方が多くなっている事が分かりました。特に年収が300万円以下の被保険者は全体の84.6%を占め、その中には、ひとり親家庭や子育て世帯も多く含まれているため、十分な配慮が必要でした。

● 低所得者対策の議論と提案

一方で、国保の医療費は上昇し続けている（令和3年度は前年度比で+6.2%）という事も大きな課題となっていました。稲津は「医療費増加分は、負担率の少ない高所得者の負荷限度額の引き上げによって賄う事が必要だ」とも述べました。

健康保険制度はすべての国民が生活を営む上で欠かせない制度でもあります。保険料の引き上げによって未納者が増え、財政への影響のみならず、制度が破綻することは、何としても避けなければなりません。

今回の審議会で出された答申は、市議会本会議でも了承され、保険税率と均等割り額は据え置かれることになりました。

その結果、府中市は三多摩で最も負担の少ない保険料率を設定し、低所得者への配慮と対策を実現しました。

ひといき

現状「不透明」と言われてもやむなしか

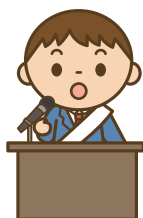
もしも議長選に「所信表明」があったら

● パッと見ただけでは唐突感が否めないのかも

改選後に必ず行われるのが議長選です。東京都府中市議会においては、議員間では事前に様々な話し合いや調整が行われても、議場において候補者が投票前に「議長になった暁にはこうしたいです」といった、いわゆる「所信表明」を行うことはありません。いきなり「選挙を始めます」と声がかかり、用紙に氏名を書いて投票するという流れです。

そして、得票数が多かった候補者が議長に選ばれ、そこで初めて「こうしたいです」と表明します。

この様子を見て「よく何も情報がない中で候補者名を書けたものだ」と思う方もいらっしゃるでしょう。



● 「人となり」が分かった方が良いのかも

他の地方議会では、議長選を行う際に候補者が登壇して、議会の進め方や立ち位置などを述べてから投票に移るところもあります。映像ではありませんが、稲津もその様子を見たことがあり、議長を選ぶ際の判断基準が明確になると感じました。また、市民の方にとって、所信表明は議会や市政の方向性、候補者の人柄などが見えるというメリットもあるでしょう。

現在、議長だけでなく、副議長選においても投票前の「所信表明」はありません。もしも所信表明があったらいいのと思う方は多いのではないのでしょうか。



本会議から 【6月議会】国内外からも警告的意見があったのだが

人権を守れぬ日本になってどうする？

● 必要なのは「排除」ではなく「支援」

いわゆる「入管法」の改正案が、6月に賛成多数で可決されましたが、先に行われた参議院法務委員会にて「附帯決議」が賛成多数で決議されていました。そこには、紛争避難民だけでなく、本国に戻ることで生命の危機にさらされる方なども確実に保護することや、難民認定を透明かつ公平に行うことなどが盛り込まれています。

稲津は今回、改悪と言っても良い入管法について、附帯決議に基づいた見直しを求める意見書を提出しました。これは本会議最終日に、議員提出議案として直接審議されました。



● 日本国民すら守られていない気がするのだが

審議の際、稲津は意見書に対する補足説明を行い、日本人配偶者がいても難民申請が認められていない事例や、在留資格のない子ども達を救えていない事例などをあげ、今の日本について「およそ人権のある国家の態度とは言えない」と強調しました。

しかし、採決の結果、賛成 13、反対 16 で、意見書は不採択となりました。国会で附帯決議案を提出した日本維新の会が反対に回ったことには驚きを隠せません。

LGBTQ の方や障がいがある方などへの日本の対応にも疑問符が浮かびます。本当にそれで良いのでしょうか。



教えて！
稲津さん

議会が謎だから聞いてみた



【質問9】



議席って、どういうふうに決めていますか？
「仮議席」も含めて教えてください。

【稲津けんごが答えます】

● 仮議席はどうやって決まるの？

市議選後の最初に行われる議会で、議員は 50 音順で座ります。行政側から見て下段の左端が 1 番で、上段の右端が 30 番です。私は「いなづ」なので、大体早い順番になりますが、仮議席では 3 番あたりになるケースが多いです。余談ですが、議長が決まるまでは最年長の議員が「仮議長」となります。

しかし「仮」とある通り、正式な議席が決まると、この並びで座ることはありません。議長と副議長が決まった後、正式な議席を決めます。この話し合いが長くなることは多く、夜遅くに決まることもあります。

● 議席順に決まりはあるの？

議席順を決める際、下記のような法則が働くことが多いです。これをもとに、席順予想を立てる方もいらっしやいます。

- ・会派が固まりを成すように座る
- ・初当選の議員は下段の席に座り、数と段が上がるにつれ、期数の多い議員が座る
- ・一人会派は下段の席に座る
- ・同じ会派内で期数が同じ場合は年少者が数の小さい番号の席に座る

しかし、必ずそうなるとは限らず、私の初当選時は中段の席でした。今回の議席も意外なことに気づくでしょう。

先輩議員より後の番号だよ

一人会派だけど、中段だよ

道路を挟んだこともあったなあ

お知らせ ついに、その時が来た！

さよなら現庁舎、これからは新庁舎にて

● 9月議会から「新庁舎」で

新市庁舎建設に伴い、6月議会をもって、これまでの本会議場や委員会室での議会審議が終わりました。これまでの場所は老朽化が進んでいる上、本来であれば「ヘルメット要着用」と言われていたほど耐震性に問題があった場所でしたが、9月議会からは耐震性も高まり、デジタル化も進んだ議場となります。

議場で大きく変わる点の中に、議席と行政側の席の間に、新たな壇が設けられることがあります。主に一問一答式の質問の際に役立ちそうですが、行政側に近い場で面と向かって意見を述べることは、より緊張感が高まることでしょう。



● 9月議会は1日から

例年、9月議会は8月下旬から始まることが多いのですが、2023年は9月1日に招集され、同29日まで開催されます。一般質問は4日から3日間の日程で実施されます。

また、決算審議が21日から27日まで5日間（土日を除く）開催されます。新庁舎での初の議会は、内容盛り沢山となります。9月議会終了後、市政レポートの次号が出るまでに、12月議会が開催されます。



←府中市議会を知る

日程や議案など、議会情報は
こちらから

府中市議会を見る→

本会議インターネット中継は
こちらから

